

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	キャリア教育学			学科名	作業療法学科		講師名	河本敦史/青山信一 溝畑美香/山本剛裕	
時間数	45時間						実務経験の有無	作業療法士として身体障害、精神障害、老年期障害領域の病院等で実務経験あり	
学年・学期配当		1年次		2年次	3年次		前期	後期	通期
目的・ねらい		単に知識・技術の獲得にとどまらず、職業人としての自分はどう在るべきなのかを多角的にとらえることにより、自身の職業に誇りを持ち、自分自身の未来と職業としての未来を見据えて生涯学び続ける力を身に付けることを期待する。							
授業全体の内容の概要		職業人、社会人、医療人として臨床現場に出ていく為の知識、技術、姿勢、マナーを身につける。 臨床実習Ⅰ報告会での発表ならびに聴講。 2年生の臨床実習Ⅱ報告会の聴講。							
授業修了時の達成課題（到達目標）		1年次の臨床実習Ⅰに向けての準備が整い、実習に臨むことができる。 臨床実習Ⅰの報告会において、実習での経験をまとめて他学生や教員に向けて発表することができる。 2年生の臨床実習Ⅱの報告会を聴講することで、1年後の自身の到達目標を考えることができる							
指導計画	回	形態	内 容						
	1	講義/演習	オリエンテーション/臨床実習に向けての準備						
	2	講義/演習	実習地発表/臨床実習の手引き配布						
	3	講義/演習	実習地についての事前調査						
	4	講義/演習	実習プロフィール作成						
	5	講義/演習	実習プロフィール作成						
	6	講義/演習	実習プロフィール修正						
	7	講義/演習	臨床場面でのあいさつ						
	8	講義/演習	事前の電話連絡						
	9	講義/演習	PC操作について（Word）						
	10	講義/演習	デイリーノートの書き方						
	11	講義/演習	PC操作について（Word）						
	12	講義/演習	症例報告書の書き方						
	13	講義/演習	PC操作について（Excel）						
	14	講義/演習	PC操作について（Powerpointl）						
	15	講義/演習	実習中の身なり・失敗しない身だしなみ						
	16	講義/演習	実習中の態度						
	17	講義/演習	SNS使用に関する注意						
	18	講義/演習	体調管理						
	19	講義/演習	ハラスメント対策						
	20	講義/演習	臨床実習Ⅰ報告会での発表、聴講（令和7年12月11日）						
	21	講義/演習	臨床実習Ⅰ報告会での発表、聴講（令和7年12月11日）						
	22	講義/演習	臨床実習Ⅱ報告会（2年生）の聴講（令和8年3月13日）						
	23	講義/演習	臨床実習Ⅱ報告会（2年生）の聴講（令和8年3月13日）						
			原則、筆記試験の実施 筆記試験 有 ・ 無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイントなどの提出を必須とする。						
テキスト・参考図書等		テキスト：これで解決！PT・OT・ST臨床実習まるごとガイド（金芳堂） 参考図書：PT・OT・STのためのコミュニケーション実践ガイド（医学書院）							
評価方法		授業への取り組み方、提出物の期限遵守、報告会の内容などで総合的に評価する							

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	コミュニケーション論		学科名	作業療法学科	講師名	梶原 宣志
時間数	30時間				実務経験の有無	作業療法士として生活期医療機関等にて実務経験あり
学年・学期配当		1 年次		2 年次	前期 後期 通期	
目的・ねらい		日頃から無意識に行っているコミュニケーションについて基本から学び、作業療法士として臨床場面で活かせるコミュニケーションについて知る。				
授業全体の内容の概要		改正理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に基づき、「コミュニケーションとは何か」「チーム・組織」とは何かという基礎となるところから、リハビリテーション領域における応用となるところまでを学修できるよう幅広く講義を行う。				
授業修了時の達成課題（到達目標）		多職種連携を図りながらチーム医療のなかで、対象者が主体的にリハビリテーションを行う意思が持てるよう、対象者とのコミュニケーション、そして家族とのコミュニケーションを円滑に行え、専門職の役割を発揮できる人物を目指す。				
指導計画	回	形態	内 容			
	1	講義	なぜコミュニケーションを学ぶのか			
	2	講義	コミュニケーションの本質			
	3	講義・演習	コミュニケーションに必要とされる力			
	4	講義・演習	コミュニケーションに必要とされる力			
	5	講義	バーバル・ノンバーバル・コミュニケーション			
	6	講義・演習	コミュニケーションの手法			
	7	講義・演習	コミュニケーションの手法			
	8	講義・演習	対象別の伝達			
	9	講義・演習	対象別の伝達			
	10	講義	医療面接とチーム医療			
	11	講義・演習	リーダーシップ			
	12	講義・演習	リーダーシップ			
	13	講義・演習	チームアプローチ			
	14	講義	多職種連携の実践			
15	講義	コミュニケーションの記録				
テキスト・参考図書等		主：リハベーシック コミュニケーション論・多職種連携論 内山靖・藤井浩美・立石雅子 編 副：治療・援助における二つのコミュニケーション 山根寛/白石圭悟著 副：会話分析でわかる看護師のコミュニケーション技術 川野 雅資 編著 医歯薬出版株式会社 三輪書店 中央法規				
評価方法		筆記試験				

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	リハビリテーション医学		学科名	作業療法学科	講師名	青山 信一
時間数	15時間				実務経験の有無	作業療法士として急性期病院、回復期病院等で実務経験あり
学年・学期配当		1 年次2 年次		前期後期通期		
目的・ねらい		リハビリテーション医学の主要な対象疾患、障害、評価について理解すること。				
授業全体の内容の概要		講義と演習（実技）を実施し、知識と技術両者を習熟できるように計画する。				
授業修了時の達成課題（到達目標）		1）リハビリテーションの対象である疾患の病態を理解し、説明できる 2）リハビリテーションにおける基本的な機能評価について説明、実践できる				
指導計画	回	形態	内 容			
	1	講義	オリエンテーション			
	2	講義	リハビリテーションの流れについて			
	3	講義	脳血管障害とリハビリテーション医学			
	4	講義	高次脳機能障害とリハビリテーション医学			
	5	講義	運動器疾患とリハビリテーション医学			
	6	講義	がんとリハビリテーション医学			
	7	講義/実技	リハビリテーション医学における機能評価法			
	8	講義/実技	リハビリテーション医学における機能評価法			
		原則、筆記試験の実施 筆記試験 有 無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイントなどの提出を必須とする。				
テキスト・参考図書等		適宜、資料を配布します。 7回目、8回目の授業で、メジャーを使用しますので、事前に準備をお願いします。				
評価方法		成績は終講試験（筆記）において、60%以上の得点取得により合格となります。実技試験は行いません。				

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	リハビリテーション概論		学科名	作業療法学科	講師名	河本敦史 溝畑美香
時間数	30時間				実務経験の有無	作業療法士として急性期病院 および精神科病院等で 実務経験あり
学年・学期配当	1年次2年次3年次		前期後期通期			
目的・ねらい	リハビリテーション医療に関わる者として、「リハビリテーション」に関する知識および関連する知識を学ぶ。また、疾病と障害、障害受容などに関して、考察、討論などを通じ、障害を持つ方の援助職としての心構えを深める。					
授業全体の 内容の概要	リハビリテーションの歴史など知識面は座学で教授する。また国際障害分類、生活機能分類などの学びにおいては背景や一般的な説明を行った後、事例や架空症例を検討し、グループ討論なども交え学んでいく。国家試験で出題された関連問題の提示も行い、適宜、小テストを実施する。					
授業修了時の 達成課題 (到達目標)	・「リハビリテーション」について自分の言葉で説明できる。 ・リハビリテーション関連職種として、「障害」を捉えるための基本的枠組みを説明できる。					
指導計画	回	形態	内 容			
	1	講義	リハビリテーションの概念・理念・定義①			
	2	講義	リハビリテーションの概念・理念・定義②			
	3	講義	健康と障害の概念と分類①			
	4	講義	健康と障害の概念と分類②			
	5	講義	障害の心理的・社会的視点①			
	6	講義	障害の心理的・社会的視点②			
	7	講義	リハビリテーション過程①			
	8	講義	リハビリテーション過程②			
	9	講義	リハビリテーションの諸段階①			
	10	講義	リハビリテーションの諸段階②			
	11	講義	医療とリハビリテーション専門職種と役割①			
	12	講義	医療とリハビリテーション専門職種と役割②			
	13	講義	チームアプローチ①			
	14	講義	チームアプローチ②			
	15	講義	まとめ			
			原則、筆記試験の実施 ☒ 筆記試験 ☐ 無し しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイントなどの提出を必須とする。			
テキスト・参考図書等	田島文博：リハビリテーション概論―改訂第4版―，永井書店					
評価方法	終講試験の結果をもって行う。					

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	人間発達学			学科名	作業療法学科	講師名	天野 正治
時間数	30時間					実務経験の有無	教員として教育機関にて実務経験あり
学年・学期配当		1年次 2年次 3年次			前期 後期 通期		
目的・ねらい		リハビリテーションサービス提供を使命とするため、人間の一生にわたる発達について学ぶ必要がある。					
授業全体の 内容の概要		身体構造、脳神経、内部臓器の成長・変化・運動・感覚・認知（精神）・言語機能を中心とし、人間の運動機能・動作能力に影響を与えるハnadスキルコミュニケーション					
授業修了時の 達成課題 （到達目標）		心理，精神，社会学も含めた人間発達の全体像を理解すること。					
指導計画	回	形態	内 容				
	1	講義	人間発達とは				
	2	講義	人間発達学の理解と研究法				
	3	講義	自然科学からみた人間				
	4	講義	社会科学からみた人間				
	5	講義	身体運動機能-身体構造，胎児期～青年期				
	6	講義	身体運動機能-身体構造，成人期～老年期				
	7	講義	身体運動機能-運動 歩行1 胎児期～青年期				
	8	講義	身体運動機能-運動 歩行2 成人期～老年期				
	9	講義	身体運動機能-運動 脳神経系機能（反射・反応）				
	10	講義	身体運動機能-運動 内部（生理）機能				
	11	講義	身体運動機能-運動 感覚・認知機能（精神状態）				
	12	講義	言語機能				
	13	講義	心理・社会性				
	14	講義	生について-社会科と再社会化				
	15	講義	死について				
		原則、筆記試験の実施 筆記試験 <u>有</u> ・無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイントなどの提出を必須とする。					
テキスト・参考図書等		「シンプル理学療法・作業療法シリーズ 人間発達学テキスト」（南江堂）					
評価方法		定期テストで執り行う					

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	人間関係論		学科名	作業療法学科	講師名	梶原 宣志
時間数	15時間				実務経験の有無	作業療法士として生活期医療機関等にて実務経験あり
学年・学期配当			1 年次2 年次		前期	後期通期
目的・ねらい			作業療法士にとって人を客観視する大切さを学び、客観視した状態で『他者を理解すること』を理解する。人間関係によって役割や人の表現反応には意味があることが理解でき、それが作業療法にも活かすことができると気づけるよう、学びを深めていく。			
授業全体の内容の概要			人が人を認知することの理解を深め、他者・異性・職場といったさまざまな場面での人間関係を客観的に学習する。また、人の人間関係が生まれてから死ぬまでどのように変化していくのかを総合的に学ぶ。			
授業修了時の達成課題（到達目標）			人が人をどのように認知し、どのような人間関係を構築しようとしているのかを理解した上で、その状況を分析する力を身につける。			
指導計画	回	形態	内 容			
	1	講義	自己概念と価値観			
	2	講義	対人認知とステレオタイプ			
	3	講義	異性との人間関係			
	4	講義	愛情のネットワーク			
	5	講義	愛着			
	6	講義	職場での人間関係			
	7	講義	高齢者の人間関係			
	8	講義	無意識のシグナル			
	9					
	10					
テキスト・参考図書等			主：プリント 副：人間関係がよくわかる心理学 小山望 編 福村出版 副：人間関係の心理学 高橋恵子 著 東京大学出版			
評価方法			筆記試験			

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	作業学実習Ⅰ			学科名	作業療法学科	講師名	溝畑 美香		
時間数	45時間					実務経験の有無	作業療法士として精神科病院・高齢者総合福祉施設にて実務経験あり		
学年・学期配当		1年次		2年次	3年次	前期		後期	通期
目的・ねらい		作業療法士は対象者が実施可能で治療目的にあった作業種目を種々の作業活動の中から選び、対象者に提示する。その為、種々の作業の材料・道具・手順を知る。体験者として作業活動分析や安全性、危険度、身体面・精神面の両面からみた治療効果などを知る。							
授業全体の内容の概要		体験学習として実際に作業に取り組む。							
授業修了時の達成課題（到達目標）		製作など様々な活動を通して、作業活動を行っている対象者の気持ちが少しでも理解できるようになる。作業の特質や知識・技術や指導法を習得する。対象者にあった作業や段階付け、指導方法が選択できる。							
指導計画	回	形態	内 容						
	1	演習	オリエンテーション						
	2	演習	クラフト実践（塗り絵）						
	3	演習	クラフト実践（塗り絵）						
	4	演習	塗り絵発表						
	5	演習	クラフト実践（ちぎり絵）						
	6	演習	ちぎり絵発表						
	7	演習	クラフト実践（トランプ）						
	8	演習	作業の特性について①						
	9	演習	作業の特性について②						
	10	演習	ブラ板①						
	11	演習	ブラ板②						
	12	演習	装飾（夏）①						
	13	演習	装飾（夏）②						
	14	演習	編み物						
	15	演習	スクラッチアート①						
	16	演習	スクラッチアート②						
	17	演習	脳トレ						
	18	演習	装飾（秋）①						
	19	演習	装飾（秋）②						
	20	演習	レポート報告（作業について）						
	21	演習	レポート報告（作業について）						
	22	講演	薬物乱用防止特別講演会						
	23	講演	薬物乱用防止特別講演会						
			原則、筆記試験の実施 筆記試験 有・無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイントなどの提出を必須とする。						
テキスト・参考図書等		必要に応じて資料を配布します。 内容は進行状況等により変更する場合があります。							
評価方法		レポートで総合的に評価する							

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	作業療法概論		学科名	作業療法学科	講師名	河本 敦史
時間数	15時間				実務経験の有無	作業療法士として急性期病院等で実務経験あり
学年・学期配当		1 年次 2 年次 3 年次			前期 後期 通期	
目的・ねらい		作業療法は、その対象、領域、手段が多岐にわたるが、全てに共通していることは、対象者の意味のある作業の獲得によって、人類の福祉に貢献することを目的としている点である。学生たちがこのことを理解し、実践できる作業療法士になることが本講義のねらいである。				
授業全体の内容の概要		意味のある作業は対象者によって異なり、対象者の生活史を把握するためには豊かな人間性が必要となってくる。本科目では、作業療法の評価や治療のプロセス、各領域のアウトラインを理解し、社会に貢献し得る作業療法を学ぶ学生としての自覚を促す。				
授業修了時の達成課題（到達目標）		作業療法の定義を説明することができる。作業療法の歴史，概念や大まかなプロセスについて言及することが可能。				
指導計画	回	形態	内 容			
	1	講義	作業療法の生い立ち，ガイダンス，自己紹介			
	2	講義	我が国における作業療法の発展			
	3	講義	作業療法の現在			
	4	講義	作業療法実践の枠組み			
	5	講義	作業療法モデル論			
	6	演習	作業療法モデル論 演習			
	7	講義	作業療法の進化			
	8	演習	集団討議			
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
		原則、筆記試験を実施 筆記試験 <u>有</u> ・ 無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイントなどの提出を必須とする。				
テキスト・参考図書等		作業療法の世界 作業療法を知りたい・考えたい人のために 三輪書店				
評価方法		実施された授業コマ数の1/3以上を欠席すると定期試験の受験資格を失うため、学生の理解を徹底する。成績評価は、期末試験をもって判定する。期末テストは、筆記テストを実施する。				

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	作業療法管理学			学科名	作業療法学科	講師名	河本 敦史
時間数	30時間					実務経験の有無	作業療法士として急性期病院等にて実務経験あり
学年・学期配当		1年次2年次3年次			前期後期通期		
目的・ねらい		作業療法対象者の人生を豊かにするために質の高い作業療法が提供できるようになること。					
授業全体の内容の概要		社会における組織という集団の中で業務を実行するとなると、さまざまな問題に直面する。そのためには自分自身や組織をマネジメントする必要がある。前半は作業療法にかかわるマネジメントの基本について、後半は臨床で作業を実現するための取り組みについて学ぶ。					
授業修了時の達成課題（到達目標）		作業療法における組織マネジメント、医療安全、医療サービスなど管理運営、作業療法の業務の実際、職域や職業倫理、諸制度、臨床実習やキャリア教育について学び、修得する。					
指導計画	回	形態	内 容				
	1	講義	第一章 作業療法とマネジメント				
	2	講義	第二章 組織の成り立ちとマネジメント				
	3	講義	第三章 情報のマネジメント				
	4	講義	第四章 医療サービスのマネジメント				
	5	講義	第五章 医療安全のマネジメント1				
	6	講義	第五章 医療安全のマネジメント2				
	7	講義	第六章 作業療法業務のマネジメント1				
	8	講義	第七章 作業療法業務のマネジメント2				
	9	講義	第八章 作業療法業務のマネジメント3-実践からの学び-				
	10	講義	第九章 作業療法の役割と職域				
	11	講義	第十章 作業療法士の職業倫理				
	12	講義	第十一章 作業療法をとりまく諸制度				
	13	講義	第十二章 作業療法臨床実習の理解と管理体制				
	14	講義	第十三章 作業療法士のキャリア開発				
	15	講義	マネジメント演習				
			原則、筆記試験の実施 筆記試験 <u>有</u> ・無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイントなどの提出を必須とする。				
テキスト・参考図書等		作業療法管理学入門 医歯薬出版株式会社					
評価方法		実施された授業コマ数の1/3以上を欠席すると定期試験の受験資格を失うため、学生の理解を徹底する。成績評価は、期末試験をもって判定する。期末テストは、筆記テストを実施する。					

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	保健体育		学科名	作業療法学科	講師名	徳光 謙一
時間数	30時間				実務経験の有無	作業療法士として急性期・回復期・生活期の医療機関で実務経験あり
学年・学期配当		1年次 2年次 3年次			前期 後期 通期	
目的・ねらい		健康維持増進のための身体運動の必要性について理解する。 スポーツに関する基礎的知識や体力を身につける。				
授業全体の 内容の概要		体操及び体づくり運動を中心に実践し、健康維持増進のための基本運動を学習する。 各種スポーツのルールと基礎的技術を学習する。				
授業修了時の 達成課題 (到達目標)		体操や各種スポーツを通し、運動効果及びスポーツの基礎的技能を習得する。 健全な社会性および心身の調和的発達を図る。				
指導計画	回	形態	内 容			
	1	演習	ストレッチ、卓球			
	2	演習	ストレッチ、卓球			
	3	演習	ストレッチ、バドミントン			
	4	演習	ストレッチ、バドミントン			
	5	演習	体操、ボーリング			
	6	演習	体操、ボーリング			
	7	演習	体操、ペタンク			
	8	演習	体操、ペタンク			
	9	演習	体操、ガラッキー			
	10	演習	体操、ガラッキー			
	11	演習	体操、シットバレー			
	12	演習	体操、シットバレー			
	13	演習	体操、バスケットボール			
	14	演習	体操、テニス			
	15	講義	障害特性に応じたスポーツプログラムの立案			
			原則、筆記試験の実施 筆記試験 有 ・ <u>無</u> しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイントなどの提出を必須とする。			
テキスト・参考図書等		なし				
評価方法		授業への積極性、協調性、安全への配慮 レポート、実技試験				

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	内科学Ⅰ		学科名	作業療法学科	講師名	今野 哲男
時間数	30時間				実務経験の有無	理学療法士として回復期病院等にて実務経験あり
学年・学期配当			1年次2年次3年次		前期後期	通期
目的・ねらい			全身的な内科疾患の内、作業療法の対象となる疾患について理解する。			
授業全体の内容の概要			「解剖学」「生理学」の基礎を学んだ上で、症候のメカニズムや各疾患の特徴の捉え方との関連づけを図る。適宜、治療薬についても説明する。			
授業修了時の達成課題（到達目標）			内科的病気の基礎を知り、リハビリテーションの概要を理解する。			
指導計画	回	形態	内 容			
	1	講義	呼吸器の解剖・生理①			
	2	講義	呼吸器の解剖・生理②			
	3	講義	呼吸器疾患①			
	4	講義	呼吸器疾患②			
	5	講義	呼吸器疾患③			
	6	講義	免疫機能			
	7	講義	自己免疫疾患①			
	8	講義	自己免疫疾患②			
	9	講義	内分泌系の解剖・生理			
	10	講義	代謝性疾患①			
	11	講義	代謝性疾患②			
	12	講義	腎・泌尿器の解剖①			
	13	講義	腎・泌尿器の解剖②			
	14	講義	腎・泌尿器疾患			
	15	講義	まとめ			
			原則、筆記試験の実施 <u>有</u> ・ 無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイントなどの提出を必須とする。			
テキスト・参考図書等			特に指定しない。			
評価方法			筆記試験			

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	内科学Ⅱ (臨床薬理学を含む)		学科名	作業療法学科	講師名	今野 哲男
時間数	30時間				実務経験の有無	理学療法士として回復期病院等にて実務経験あり
学年・学期配当		1年次 2年次 3年次			前期	後期 通期
目的・ねらい		全身的な内科疾患の内、作業療法の対象となる疾患について理解する。				
授業全体の 内容の概要		内科学Ⅰに引き続き、「解剖学」や「生理学」、「病理学」の復習を中心に、症候のメカニズムや各疾患の特徴の捉え方との関連づけを図る。適宜、治療薬についても説明する。				
授業修了時の 達成課題 (到達目標)		内科的病気の基礎を知り、リハビリテーションの概要を理解する。				
指導計画	回	形態	内 容			
	1	講義	薬の基礎知識①			
	2	講義	薬の基礎知識②			
	3	講義	薬の基礎知識③			
	4	講義	消化器の解剖①			
	5	講義	消化器の解剖②			
	6	講義	消化器の解剖③			
	7	講義	消化器系疾患①（肝臓・胆嚢・膵臓）			
	8	講義	消化器系疾患②（食道・胃・腸）			
	9	講義	循環器疾患の薬剤①			
	10	講義	循環器疾患の薬剤②			
	11	講義	循環器の解剖①			
	12	講義	循環器の解剖②			
	13	講義	循環器疾患①			
	14	講義	循環器疾患②			
	15	講義	まとめ			
			原則、筆記試験の実施 ☒ 筆記試験 ☐ ・無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイント などの提出を必須とする。			
テキスト・参考図書等		特に指定しない。				
評価方法		筆記試験				

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	基礎医学演習Ⅰ		学科名	作業療法学科	講師名	山本 剛裕
時間数	30時間				実務経験の有無	作業療法士として病院内重度認知症患者ディケアにて実務経験あり
学年・学期配当	1年次 2年次 3年次			前期	後期	通期
目的・ねらい	基礎的な医学を臨床医学的側面から学び、修得すること。					
授業全体の内容の概要	基礎医学の知識を学び、それが臨床作業療法の現場でどのように役立つのかを学習する。					
授業修了時の達成課題(到達目標)	リハビリテーションや作業療法に関連する基礎的な医学を理解する。					
指導計画	回	形態	内 容			
	1	講義	基礎医学 消化器			
	2	講義	基礎医学 消化器			
	3	講義	基礎医学 消化器と臨床作業療法			
	4	講義	基礎医学 呼吸器			
	5	講義	基礎医学 呼吸器			
	6	講義	基礎医学 呼吸器と臨床作業療法			
	7	講義	基礎医学 呼吸器と臨床作業療法			
	8	講義	基礎医学 泌尿器			
	9	講義	基礎医学 泌尿器と臨床作業療法			
	10	講義	基礎医学 内分泌系			
	11	講義	基礎医学 内分泌系と臨床作業療法			
	12	講義	基礎医学 循環器			
	13	講義	基礎医学 循環器			
	14	講義	基礎医学 循環器と心臓リハビリテーション			
	15	講義	基礎医学 循環器と心臓リハビリテーション			
			原則、筆記試験の実施 ☒ 有 ☐ 無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイントなどの提出を必須とする。			
テキスト・参考図書等			資料を適宜配布します。 参考：「レクチャーシリーズ 作業療法テキスト 内部障害作業療法学 呼吸・循環・代謝」			
評価方法			実施された授業コマ数の1/3以上を欠席すると不可とする。成績評価は、出席状況をもって判定する。授業の進捗状況によって、授業内容を一部変更する場合がある。			

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	外国語		学科名	作業療法学科	講師名	青山 信一 溝畑 美香
時間数	15時間				実務経験の有無	作業療法士として急性期病院および精神科病院等にて実務経験あり
学年・学期配当		1 年次 2 年次		前期 後期 通期		
目的・ねらい		医学英語に親しみ、医学で使用される頻度の高い英語の語彙を増やす。				
授業全体の 内容の概要		医学で使用される英単語を学習する。				
授業修了時の 達成課題 (到達目標)		外国語表記の医学用語を理解し、使用できるようになる。				
指導 計 画	回	形態	内 容			
	1	講義	オリエンテーション 外国語表記について			
	2	講義	外国語表記について（解剖学）			
	3	講義	外国語表記について（生理学）			
	4	講義	外国語表記について（運動学）			
	5	講義	外国語表記について（臨床場面①）			
	6	講義	外国語表記について（臨床場面②）			
	7	講義	外国語表記について（研究論文①）			
	8	講義	外国語表記について（研究論文②）			
			原則、筆記試験の実施 筆記試験 <u>有</u> 無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイントなどの提出を必須とする。			
テキスト・参考図書等		教科書：リハビリテーション英語の基本用語と表現 その他、資料は適宜配布します				
評価方法		成績は、出席と終講試験結果より総合的に判断				

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	小児科学			学科名	作業療法学科	講師名	河本 敦史
時間数	30時間					実務経験の有無	作業療法士として急性期病院等にて実務経験あり
学年・学期配当		1年次2年次3年次			前期	後期通期	
目的・ねらい		リハビリテーションにおける小児を取り巻く疾患やリハビリテーションの手法を理解する。					
授業全体の 内容の概要		授業は講義形式で執り行う。内容は小児リハビリテーション医学の総論から各論に渡る。					
授業修了時の 達成課題 (到達目標)		小児のリハビリテーション，発達，診断評価や疾患について説明することができる。					
指導計画	回	形態	内 容				
	1	講義	概論				
	2	講義	概論・診断評価				
	3	講義	診断評価・治療				
	4	講義	治療・CP				
	5	講義	CP・神経発達症群				
	6	講義	神経発達症群				
	7	講義	神経発達症群				
	8	講義	脳血管障害～脳症				
	9	講義	脳血管障害～脳症・二分脊椎				
	10	講義	二分脊椎・神経，筋疾患，整形				
	11	講義	神経，筋疾患，整形・重心				
	12	講義	重心・新生児疾患，てんかん				
	13	講義	新生児疾患，てんかん				
	14	講義	復習				
	15	講義	問題練習				
			原則、筆記試験の実施 ☒ 筆記試験 ☐ ・無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイント などの提出を必須とする。				
テキスト・参考図書等		小児リハビリテーション医学					
評価方法		実施された授業コマ数の1/3以上を欠席すると定期試験の受験資格を失うため、学生の理解を徹底する。成績 評価は、期末試験をもって判定する。期末テストは、筆記テストを実施する。					

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	心理学		学科名	作業療法学科	講師名	道広 博之
時間数	30時間				実務経験の有無	理学療法士として急性期病院等にて実務経験あり
学年・学期配当		1年次 2年次 3年次			前期 後期 通期	
目的・ねらい		人間の心的構造を科学的に認識させる				
授業全体の 内容の概要		臨床、性格、社会、発達、知覚、認知、記憶、行動に関する心理学				
授業修了時の 達成課題 (到達目標)		心理学全般の基礎的内容を理解すること				
指導計画	回	形態	内 容			
	1	講義	臨床心理学の範囲、精神分析、行動療法、認知行動療法			
	2	講義	カウンセリング、家族療法、芸術療法、非行の心理学			
	3	講義	性格とは何か、性格心理学			
	4	講義	性格はどうつくられるか、性格の一貫性と変化			
	5	講義	社会的行動の心理学、他者の感情、性格の理解、コミュニケーション			
	6	講義	集団が人間を変える、群集心理			
	7	講義	発達心理学（新生児期、乳児期、幼児期）			
	8	講義	知識の獲得（自動期）、思春期の悩み、成人期、中年期、老年期の課題			
	9	講義	心理学的アセスメント、心理学的測定の考え方、知能のアセスメント			
	10	講義	発達のアセスメント、適性のアセスメント、性格のアセスメント、心理学的アセスメントの問題点			
	11	講義	環境をとらえるしくみ、知覚のシステム、知覚とアフォーダンス			
	12	講義	記憶のしくみ、認知のバイアス			
	13	講義	行動とは何か、学習とは何か、生得的行動、学習される行動			
	14	講義	レスポナント条件づけ、オペラント条件づけ、オペラント条件づけと人間行動			
	15	講義	心理学の歴史			
			原則、筆記試験の実施 筆記試験 <u>有</u> ・無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイントなどの提出を必須とする。			
テキスト・参考図書等		「心理学・入門--心理学はこんなに面白い 改訂版」				
評価方法		定期テストで執り行う。				

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	救急救命医学		学科名	作業療法学科	講師名	大瀬戸 亮平
時間数	15時間				実務経験の有無	作業療法士として生活期の高齢者施設にて実務経験あり
学年・学期配当		1 年次 2 年次		前期 後期 通期		
目的・ねらい		応急処置をはじめとする基本的な救命方法を実践することができる。				
授業全体の 内容の概要		救急救命に必要な基本知識を身につける。				
授業修了時の 達成課題 (到達目標)		講義・演習を通して、固定やAED操作を習得。				
指導計画	回	形態	内 容			
	1	講義/演習	応急手当			
	2	講義	災害時における作業療法士の役割			
	3	講義	生活に役立つ身近な防災情報			
	4	演習	AED演習			
	5	演習	AED演習			
	6	演習	救急法			
	7	演習	救急法			
	8	演習	救急法			
			原則、筆記試験の実施 筆記試験 有 無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイント などの提出を必須とする。			
テキスト・参考図書等		特定しない。				
評価方法		実施された授業コマ数の1/3以上を欠席すると定期試験の受験資格を失うため、管理を徹底すること。成績評価は、筆記試験、出席状況、受講態度をもって判定する。授業の進捗状況によって、授業内容を一部変更する場合がある。				

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	整形外科学 （画像診断学を含む）		学科名	作業療法学科	講師名	青山 信一
時間数	30時間				実務経験の有無	作業療法士として急性期病院、回復期病院等にて実務経験あり
学年・学期配当		1年次 2年次 3年次			前期 後期 通期	
目的・ねらい		運動器官を構成する骨、軟骨、筋、靱帯、神経などの疾病・外傷の病態と治療、その基礎となる知識について理解を深める。				
授業全体の 内容の概要		教科書に記載された内容をもとに、各種病態の写真などについて一部別紙資料を併用しながら、講義を中心に展開していく。				
授業修了時の 達成課題 （到達目標）		作業療法士として対応する主要な運動器疾患の特徴を理解し、説明することができる。				
指導計画	回	形態	内 容			
	1	講義	オリエンテーション、整形外科の基礎知識、運動器の評価および検査法			
	2	講義	整形外科的治療法、骨折			
	3	講義	骨折			
	4	講義	骨折			
	5	講義	骨折、脊髄損傷			
	6	講義	関節における外傷性疾患			
	7	講義	末梢神経における外傷性疾患			
	8	講義	1～7のまとめ			
	9	講義	腱・靱帯における外傷性疾患			
	10	講義	スポーツ障害、熱傷、炎症性疾患			
	11	講義	代謝・内分泌疾患、退行性疾患			
	12	講義	循環障害と壊死性疾患			
	13	講義	骨・軟部腫瘍			
	14	講義	脊椎の疾患			
	15	講義	まとめ			
			原則、筆記試験の実施 筆記試験 ☒ ・ 無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイントなどの提出を必須とする。			
テキスト・参考図書等		標準理学療法学・作業療法学 <専門基礎分野>整形外科学【第5版】 資料などは適宜配布します。				
評価方法		成績は中間試験（50点満点）と終講試験（50点満点）の合計得点が、60点以上取得できた場合に単位取得となります。				

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	物理学		学科名	作業療法学科	講師名	今野 哲男
時間数	15時間				実務経験の有無	理学療法士として、回復期病院等にて実務経験あり
学年・学期配当			1 年次 2 年次		前期 後期 通期	
目的・ねらい			身体運動を理解するために必要な物理学の基礎知識を身につける。			
授業全体の 内容の概要			基本動作の観察評価に必要な力学的な考え方を学ぶ。また、共通科目として国家試験で出題される内容や計算についても学習する。			
授業修了時の 達成課題 (到達目標)			基本動作の観察評価に必要な力学的な考え方を理解できる。			
指導計画	回	形態	内 容			
	1	講義	運動の変数①			
	2	講義	運動の変数②			
	3	講義	練習問題・運動の変数			
	4	講義	運動学・運動力学の基礎①			
	5	講義	運動学・運動力学の基礎②			
	6	講義	関節モーメント①			
	7	講義	関節モーメント②			
	8	講義	まとめ			
			原則、筆記試験の実施 筆記試験 有 ・ 無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイントなどの提出を必須とする。			
	テキスト・参考図書等			テキスト：特に指定しない。 参考文献：基礎バイオメカニクス第2版		
評価方法			実施された授業コマ数の1/3以上を欠席すると定期試験の受験資格を失うため、管理を徹底すること。成績評価は、筆記試験、出席状況をもって判定する。授業の進捗状況によって、授業内容を一部変更する場合がある。			

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	生物学		学科名	作業療法学科	講師名	今野 哲男
時間数	30時間				実務経験の有無	理学療法士として、回復期病院等にて実務経験あり
学年・学期配当		1年次2年次3年次		前期後期通期		
目的・ねらい		理学療法の対象である人間のからだを理解する。				
授業全体の内容の概要		筋骨格器系、神経系について、基本事項を学習する。				
授業修了時の達成課題（到達目標）		解剖学・生理学・運動学・評価学を理解するための生物学の知識を身に付ける。				
指導計画	回	形態	内 容			
	1	講義	骨①			
	2	講義	骨②			
	3	講義	関節①			
	4	講義	関節②			
	5	講義	筋学①			
	6	講義	筋学②			
	7	講義	筋学③			
	8	講義	神経細胞			
	9	講義	中枢神経と末梢神経			
	10	講義	伝導路①			
	11	講義	伝導路②			
	12	講義	大脳皮質①			
	13	講義	大脳皮質②			
	14	講義	大脳基底核			
	15	講義	まとめ			
			原則、筆記試験の実施 ☒ 筆記試験 ☐ 無し しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイントなどの提出を必須とする。			
テキスト・参考図書等		特定しない。				
評価方法		実施された授業コマ数の1/3以上を欠席すると定期試験の受験資格を失うため、管理を徹底すること。成績評価は、筆記試験、出席状況をもって判定する。授業の進捗状況によって、授業内容を一部変更する場合がある。				

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	生理学		学科名	作業療法学科	講師名	沖本 優明
時間数	60時間				実務経験の有無	理学療法士として生活期の医療機関にて実務経験あり
学年・学期配当			1 年次 2 年次 3 年次		前期 後期 通期	
目的・ねらい			ヒトの健康や病気を理解するために、正常な体の動き（機能）を学ぶ			
授業全体の 内容の概要			機能には、生命を維持するための植物性機能（呼吸、消化、排泄、循環、内分泌）と、外界の変化にすばやく応じる動物性機能（感覚、神経、骨格筋）がある。人体の正常構造の理解のため、人体を構成する各器官を系統立てて学ぶ。			
授業修了時の 達成課題 （到達目標）			生理学の基礎知識を身に付ける。			
指導計画	回	形態	内 容			
	1	講義	生命現象と人体			
	2	講義	細胞の構造と機能			
	3	講義	神経系の構造と機能			
	4	講義	末梢神経			
	5	講義	自律神経			
	6	講義	中枢神経			
	7	講義	中枢神経			
	8	演習	第1回目まとめ（生命現象と人体～中枢神経）			
	9	講義	脳神経			
	10	講義	脳神経			
	11	講義	筋と骨			
	12	講義	筋と骨			
	13	講義	感覚			
	14	講義	感覚（視覚）			
	15	講義	感覚（聴覚）			
	16	演習	第2回目まとめ（脳神経～感覚(聴覚)）			
	17	講義	血液			
	18	講義	血液			
	19	講義	血液			
	20	講義	心臓と循環			
	21	講義	心臓と循環			

指導計画	22	講義	心臓と循環
	23	講義	心臓と循環
	24	講義	心臓と循環
	25	演習	第3回目まとめ（血液～心臓と循環）
	26	講義	呼吸とガスの運搬
	27	講義	呼吸とガスの運搬
	28	講義	呼吸とガスの運搬
	29	演習	呼吸とガスの運搬
	30	演習	第4回目まとめ（呼吸とガスの運搬）
			原則、筆記試験の実施 筆記試験 <u>有</u> ・無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイントなどの提出を必須とする。
テキスト・参考図書等			「標準理学療法学作業療法学 生理学 第6版」医学書院、「PT・OT基礎固め ヒント式トレーニング 基礎医学編」南江堂
評価方法			実施された授業コマ数の1/3以上を欠席すると定期テストの受験資格を失うため各自で管理徹底すること。成績評価は、中間テスト、期末テスト、出席状況、受講態度をもって判定する。中間テスト・期末テストは、筆記テストを実施する。判定に際して、中間テスト・期末テストおよび出席状況および受講態度を加味して評価を行う。授業の進捗状況によって、授業内容を一部変更する場合がある。

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名		生理学実習		学科名	作業療法学科	講師名	沖本 優明	
時間数		45時間				実務経験の有無	理学療法士として生活期の医療機関にて実務経験あり	
学年・学期配当			1年次	2年次	3年次	前期	後期	通期
目的・ねらい			人体の正常構造の理解のため、人体を構成する各器官を系統立てて学び、生理学の基礎知識を身に付ける。また、問題演習、解説を実施することで理解を深める。					
授業全体の内容の概要			正常な人体の各機能について学ぶ。問題演習や解説を行う。					
授業修了時の達成課題（到達目標）			基礎知識を身につけるとともに、国家試験対策を行うことで、知識を定着させる。					
指導計画	回	形態	内 容					
	1	講義	尿の生成と排泄					
	2	講義	尿の生成と排泄					
	3	講義	尿の生成と排泄					
	4	講義	酸塩基平衡					
	5	講義	消化と吸収					
	6	講義	消化と吸収					
	7	講義	消化と吸収					
	8	講義	消化と吸収					
	9	講義	内分泌					
	10	講義	内分泌					
	11	講義	内分泌					
	12	講義	代謝と体温					
	13	講義	代謝と体温					
	14	講義	生殖と発生・成長と老化					
	15	講義	生殖と発生・成長と老化					
	16	講義	生殖と発生・成長と老化					
	17	講義	生殖と発生・成長と老化					
	18	講義	運動生理					
	19	演習	国試問題演習					
	20	演習	国試問題演習					
	21	演習	国試問題演習					
	22	演習	国試問題演習					
	23	演習	国試問題演習					
			原則、筆記試験の実施 筆記試験 有・無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイントなどの提出を必須とする。					
テキスト・参考図書等			「標準理学療法学作業療法学 生理学 第6版」医学書院 「PT・OT基礎固め ヒント式トレーニング 基礎医学編」南江堂					
評価方法			実施された授業コマ数の1/3以上を欠席すると定期試験の受験資格を失う。成績評価は、小テスト、筆記試験、出席状況、受講態度をもって判定する。授業の進捗状況によって、授業内容を一部変更する場合がある。					

※形態は、講義・演習・実習（施設・企業等）

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	病理学概論		学科名	作業療法学科	講師名	櫛谷 桂 Amatya VJ
時間数	15時間				実務経験の有無	医師として急性期病院にて実務経験あり
学年・学期配当		1年次2年次		前期後期通期		
目的・ねらい		疾病の病因病態に関する理解				
授業全体の内容の概要		疾患の概念・発生機序・診断と治療に関する理解を深めるために、病理形態学的な病変の把握から遺伝子・分子レベルの異常の認識までの基礎的知識を習得する。授業は講義形式で行う。				
授業修了時の達成課題（到達目標）		細胞傷害、循環障害、炎症、遺伝子・染色体異常、腫瘍、代謝異常の概念、病因、病態生理、病理形態、診断方法を理解する。				
指導計画	回	形態	内 容			
	1	講義	病理学とは・遺伝性疾患			
	2	講義	代謝異常			
	3	講義	細胞障害			
	4	講義	炎症			
	5	講義	循環障害1			
	6	講義	免疫			
	7	講義	循環障害2			
	8	講義	腫瘍			
			原則、筆記試験の実施 筆記試験 有 無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイントなどの提出を必須とする。			
	テキスト・参考図書等		わかりやすい病理学 改訂第7版（監修: 恒吉正澄，編集: 小田義直/相島慎一，南江堂）			
評価方法		多肢選択形式、記述形式の併用による試験を行う。 本試験における合格基準は試験の合計60点以上とする。				

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	神経内科学 （画像診断学を含む）		学科名	作業療法学科	講師名	浦川 将
時間数	30時間				実務経験の有無	理学療法士として急性期病院や大学にて実務経験あり
学年・学期配当		1年次	2年次	3年次	前期	後期 通期
目的・ねらい		リハビリテーションにかかわる神経内科学を理解する。				
授業全体の 内容の概要		中枢神経系および末梢神経系の神経疾患について学ぶ。神経解剖や神経生理学など、疾患を理解するための必要知識を習得する。				
授業修了時の 達成課題 （到達目標）		神経内科学の概要と個別の疾患について理解し、神経系損傷患者に対応できうる基礎知識を整理する。				
指導計画	回	形態	内 容			
	1	講義	神経系の構造と機能（大脳の構造）			
	2	講義	神経系の構造と機能（大脳皮質）			
	3	講義	神経系の構造と機能（辺縁系、基底核）			
	4	講義	神経系の構造と機能（脳幹、小脳）			
	5	講義	運動・感覚・自律神経（運動の伝導路）			
	6	講義	運動・感覚・自律神経（運動異常、検査）			
	7	講義	運動・感覚・自律神経（感覚の伝導路、検査）			
	8	講義	運動・感覚・自律神経（自律神経）			
	9	講義	脳神経とその障害（脳神経全体、嗅覚・視覚・眼球運動）			
	10	講義	脳神経とその障害（三叉～内耳神経）			
	11	講義	脳神経とその障害（舌咽～舌下神経）			
	12	講義	脊髄とその障害（全体像、血管支配）			
	13	講義	脊髄とその障害（脊髄AVMと空洞症）			
	14	講義	末梢神経とその障害（全体像、デルマトーム）			
	15	講義	末梢神経とその障害（絞扼・圧迫性ニューロパチー）			
			原則、筆記試験の実施 筆記試験 有・無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイントなどの提出を必須とする。			
テキスト・参考図書等		病気が見える 7脳・神経				
評価方法		実施された授業コマ数の1/3以上を欠席すると定期試験の受験資格を失うため、管理を徹底すること。成績評価は、期末試験をもって判定する。				

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	精神医学Ⅰ		学科名	作業療法学科	講師名	徳光 謙一
時間数	30時間				実務経験の有無	作業療法士として急性期・回復期・生活期の医療機関で実務経験あり
学年・学期配当		1年次 2年次 3年次			前期 後期 通期	
目的・ねらい		精神疾患あるいは精神障害を有する患者の理解に必要な基本的知識を得ることを目的とする				
授業全体の内容の概要		第1～4回：精神医学、精神障害に関する基礎知識 第5～15回：精神疾患別の特徴 第16～21回：精神障害のリハビリテーション				
授業修了時の達成課題（到達目標）		精神障害を正しく理解し、評価・リハビリテーションにおける知識を基に対象者の健康的な生活を想起し、説明することが出来ることを目的とする				
指導計画	回	形態	内 容			
	1	講義	精神医学とは 精神障害の成因と分類			
	2	講義	精神機能の障害と精神症状 精神障害の診断と評価			
	3	講義	脳器質性精神障害			
	4	講義	症状性精神障害			
	5	講義	精神作用物質による精神および行動の障害			
	6	講義	てんかん			
	7	講義	統合失調症およびその関連障害			
	8	講義	気分障害			
	9	講義	神経症性障害			
	10	講義	生理的障害および身体的要因に関連した障害			
	11	講義	成人のパーソナリティ・行動・性の障害 精神遅滞			
	12	講義	心理的発達の障害 コンサルテーション・リエゾン精神医学			
	13	講義	心身医学 ライフサイクルにおける精神医学			
	14	講義	精神障害の治療とリハビリテーション 精神科保険医療と福祉、職業リハビリテーション			
	15	講義	社会・文化とメンタルヘルス			
			原則、筆記試験の実施 筆記試験 <u>有</u> ・無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイントなどの提出を必須とする。			
テキスト・参考図書等		標準理療法学・作業療法学 精神医学				
評価方法		期末筆記試験（60点以上を合格とする）・課題・出席率等				

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	精神医学Ⅱ			学科名	作業療法学科	講師名	溝畑美香
時間数	30時間					実務経験の有無	作業療法士として精神科病院・高齢者総合福祉施設にて実務経験あり
学年・学期配当		1年次2年次3年次			前期後期通期		
目的・ねらい		精神医学Ⅰで学んだことを基本として各精神疾患の治療等について学び、その障害を持つ患者の理解に必要な基本的事項や臨床で必要とされている精神医学の知識を身につける。					
授業全体の内容の概要		精神科リハビリテーションの歴史とその変遷、現代日本での精神科医療とそのリハビリテーションを学ぶ。					
授業修了時の達成課題（到達目標）		精神科医療における現状や行われているリハビリテーションの知識を身につける。身につけた知識を今後2年生で学ぶ精神科作業療法へと活用できるようにする。					
指導計画	回	形態	内 容				
	1	講義	ストレングスモデル				
	2	演習	ストレングスモデル（グループワーク）				
	3	講義	ストレングスモデル（発表）				
	4	講義	認知行動療法				
	5	講義	認知行動療法 コラム法（グループワーク）				
	6	講義	認知行動療法 コラム法（発表）				
	7	講義	ACT（包括型地域生活支援プログラム）①				
	8	講義	ACT（包括型地域生活支援プログラム）②				
	9	講義	ACT（包括型地域生活支援プログラム）③				
	10	講義	認知機能障害①				
	11	講義	認知機能障害②				
	12	講義	薬物療法①				
	13	講義	薬物療法②				
	14	講義	心理教育①				
	15	講義	心理教育②				
			原則、筆記試験の実施 ☒ 筆記試験 ☐ ・無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイントなどの提出を必須とする。				
テキスト・参考図書等		標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 精神医学 第4版 増補版 その他、必要に応じて資料を配布します。 内容は進行状況等により変更する場合があります。					
評価方法		成績は、終講試験結果より判断します。					

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	統計学		学科名	作業療法学科	講師名	山本 剛裕
時間数	15時間				実務経験の有無	作業療法士として病院内重度認知症患者ディケアにて実務経験あり
学年・学期配当		1 年次 2 年次		前期 後期 通期		
目的・ねらい		作業療法士として必要な統計学の基礎知識について習得する				
授業全体の 内容の概要		教科書に記載された内容をもとに、一部別紙資料を併用しながら、講義を中心に展開していく。				
授業修了時の 達成課題 (到達目標)		作業療法士として必要な統計学の基礎知識について理解でき、文献抄読において活用することができる				
指導計画	回	形態	内 容			
	1	講義	オリエンテーション/データの種類とまとめ方			
	2	講義	データの種類とまとめ方			
	3	講義	2種類のデータの関係性			
	4	講義	検定の基礎			
	5	講義	検定の基礎			
	6	講義	検定の応用			
	7	講義	検定の応用			
	8	講義	まとめ			
			原則、筆記試験の実施 筆記試験 (有)・無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイント などの提出を必須とする。			
テキスト・参考図書等		ていねいな保健統計学（第2版） 羊土社、その他適宜資料を配布します。				
評価方法		成績は終講試験（100点満点）において、60点以上取得できた場合に単位取得となります。				

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	老年期学		学科名	作業療法学科	講師名	大瀬戸 亮平
時間数	15時間				実務経験の有無	作業療法士として生活期の高齢者施設にて実務経験あり
学年・学期配当	1年次 2年次				前期 後期	通期
目的・ねらい	老年期の身体面・精神面の特徴についての知識を深める					
授業全体の内容の概要	高齢者の特徴的な症候や疾患を中心に環境面を含めた概要を捉える					
授業修了時の達成課題(到達目標)	老年期の特徴を習得し、評価に繋げる					
指導計画	回	形態	内 容			
	1	講義	オリエンテーション/PT・OTと老年学の関わり/加齢と老化について			
	2	講義	高齢者へのアプローチ			
	3	講義	高齢者に特徴的な症候と疾患			
	4	講義	高齢者に特徴的な症候と疾患			
	5	講義	高齢者に特徴的な症候と疾患			
	6	講義	高齢者を取り巻く環境			
	7	講義	人生の最終段階における医療			
	8	講義	まとめ			
			原則、筆記試験の実施 筆記試験 有 無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイントなどの提出を必須とする。			
テキスト・参考図書等			・標準理学療法学・作業療法学 老年学 第5版 監修 奈良 勲 鎌倉 矩子			
評価方法			成績は、終講試験（90点分）とレポートの提出（10点分）の合計にて算出し、合計点60点以上を合格とする。レポートの提出日については、別途指示します。			

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	臨床実習Ⅰ (見学実習)			学科名	作業療法学科	講師名	河本敦史/青山信一 溝畑美香/山本剛裕
時間数	45時間					実務経験の有無	作業療法士として身体障害、精神障害、老年期障害領域の病院等にて実務経験あり
学年・学期配当		1年次 2年次 3年次			前期 後期 通期		
目的・ねらい		作業療法の全体像を掴み、その理解を深める					
授業全体の内容の概要		診療・福祉サービスの中における作業療法部門の位置づけと役割、介入・支援の開始から終了に至るまでの実務の流れ、そして他職種との連携のあり方・重要性について体験を通して理解していく					
授業修了時の達成課題 (到達目標)		①実習前に設定した自己目標、課題を達成できる。②社会人としてのルール、マナーを踏まえて行動できる。③対象者と適切にコミュニケーションを取ることができる。④当該実習施設における作業療法士の役割や見学・体験した内容を、適切にまとめることができる					
指導計画	回	形態	内 容				
	1~23	実習	見学実習				
			原則、筆記試験の実施 筆記試験 有 ・ <u>無</u> しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイントなどの提出を必須とする。				
	テキスト・参考図書等		テキスト：これで解決！PT・OT・ST臨床実習まるごとガイド（金芳堂） 参考図書：PT・OT・STのためのコミュニケーション実践ガイド（医学書院） 諸注意は配布する「臨床実習の手引き」を参照				
	評価方法		実習指導者の評価と出席状況、実習後に課す課題の提出と内容等によって総合的に判断する				

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	臨床心理学		学科名	作業療法学科	講師名	道広 博之
時間数	15時間				実務経験の有無	理学療法士として急性期病院等にて実務経験あり
学年・学期配当		1 年次2 年次		前期後期通期		
目的・ねらい		「心理学」で心理学の基礎的内容を学習させ、臨床心理学ではその基礎的内容を応用し、心理臨床の実践方法を修得させる。				
授業全体の内容の概要		知能，発達，性格に関する各種検査，色々な心理療法に関する内容，乳幼児から老年期までの各発達段階の特徴と心理臨床				
授業修了時の達成課題（到達目標）		心理学リテラシーの修得				
指導計画	回	形態	内 容			
	1	講義	臨床心理学の歴史と臨床心理学への導入，各種知能検査①			
	2	講義	各種知能検査②			
	3	講義	各種発達検査，各種性格検査①			
	4	講義	各種性格検査②			
	5	講義	その他の心理検査，テストバッテリー，面接法			
	6	講義	色々な心理療法への導入①			
	7	講義	色々な心理療法への導入②			
	8	講義	色々な心理療法への導入③			
			原則、筆記試験の実施 筆記試験 有 無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイントなどの提出を必須とする。			
テキスト・参考図書等		「コメディカルのための専門基礎分野テキスト」（中外医学社）				
評価方法		定期テストで執り行う				

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	臨床運動学		学科名	作業療法学科	講師名	徳光 謙一
時間数	30時間				実務経験の有無	作業療法士として急性期・回復期・生活期の医療機関で実務経験あり
学年・学期配当			1年次2年次3年次		前期後期	通期
目的・ねらい			運動器の機能と動作について、詳細な知識を得ることを目的とする			
授業全体の内容の概要			第1～3回：基礎的な力学的内容 第4～6回：正常な姿勢・動作とその力学的メカニズム 第7回～：高齢者や特有な姿勢・動作を呈する疾患・障害別の特徴			
授業修了時の達成課題（到達目標）			運動学で得た基礎知識を基に、疾患・障害を有する対象者の特徴的な姿勢・動作を分析し、説明することができることを目的とする			
指導計画	回	形態	内 容			
	1	講義	姿勢・動作を理解するための運動学			
	2	講義	運動力学の基礎（1）			
	3	講義	運動力学の基礎（2）			
	4	講義	姿勢と保持			
	5	講義	正常運動（1）起き上がり動作、寝返り動作			
	6	講義	正常動作（2）椅子からの立ち上がり			
	7	講義	高齢者の姿勢			
	8	講義	脳血管障害後片麻痺の姿勢・動作の特徴と分析			
	9	講義	半側無視を有する脳血管障害後 片麻痺の姿勢・動作の特徴と分析			
	10	講義	対麻痺・四肢麻痺の姿勢・動作の特徴と分析			
	11	講義	パーキンソニズムの姿勢・動作の特徴と分析			
	12	講義	運動失調の姿勢・動作と分析			
	13	講義	脳性麻痺の姿勢・動作の特徴と分析			
	14	講義	変形性股関節症・膝関節症の術前・術後の姿勢・動作の特徴と分析			
	15	講義	下肢切断・義足使用の姿勢・動作の特徴と分析			
			原則、筆記試験の実施 筆記試験（有）・ 無し しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイントなどの提出を必須とする。			
テキスト・参考図書等			理学療法・作業療法テキスト 臨床運動学（15レクチャーシリーズ）			
評価方法			期末筆記試験（60点以上を合格とする）・課題・出席率等			

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	解剖学			学科名	作業療法学科	講師名	笹原 妃佐子
時間数	60時間					実務経験の有無	歯科医として急性期病院にて実務経験あり
学年・学期配当		1 年次 2 年次 3 年次			前期 後期 通期		
目的・ねらい		人間の生活行動および疾患・障害の病態メカニズムを理解する上で必要不可欠である、身体を構成する筋・骨格系（運動器）、神経系の基本構成および内蔵諸器官の構造などを学ぶことを目的とする。					
授業全体の内容の概要		スライド、配布紙資料（白黒）を中心に講義する。 適宜、形成的評価及び触察を実施し、また講義内容の追加および変更をする場合がある。 必要に応じPDFデータ（カラー）の配信および録画した授業動画を閲覧可能（非公開）とする。					
授業修了時の達成課題（到達目標）		①人体の区分と構成について説明できる。					

指導計画	22	講義	脳神経について
	23	講義	自律神経系について
	24	講義	感覚器系について（その1）
	25	講義	感覚器系について（その2）
	26	講義	内蔵器官の基本構造および循環器系について
	27	講義	呼吸器系について
	28	講義	消化器系について
	29	講義	泌尿生殖器系および内分泌系について
	30	講義	まとめ（試験対策など）
			原則、筆記試験の実施 筆記試験 <u>有</u> ・無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイントなどの提出を必須とする。
テキスト・参考図書等			標準理学療法学・作業療法学 解剖学第5版 医学書院、 人体解剖カラーアトラス 原著第8版 南江堂、 エッセンシャル・キネシオロジー原著第3版 南江堂、 ヒント式トレーニング 解剖学・運動学 南江堂
評価方法			小テストの結果平均を10%、終講試験の結果を90%の割合で評点を算出する。 原則、実施された授業回数の1/3以上欠席した場合、終講試験の受験を不可とする。 正当な理由による小テスト未受験時の結果は評点に含めない（正当な理由がない場合は0点とする）。

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名		解剖学実習		学科名	作業療法学科	講師名	笹原 妃佐子	
時間数		45時間				実務経験の有無	歯科医として急性期病院にて実務経験あり	
学年・学期配当			1年次	2年次	3年次	前期	後期	通期
目的・ねらい			解剖学で学んだ知識を臨床に応用するため、骨・靱帯・筋の触診ができる。知識面として国家試験の類似過去問に正答できる。					
授業全体の内容の概要			知識の確認をしつつ、実技練習を中心に実施する。その後、国家試験の類似過去問を解いていく。					
授業修了時の達成課題（到達目標）			・主な骨指標や靱帯の触診ができる。 ・主な筋の触診ができる（運動方向の指示や抵抗方法を含む）。 ・国家試験類似問題に正答できる。					
指導計画		回	形態	内 容				
		1	演習	イントロダクション、体幹・上肢の骨触診				
		2	演習	体幹・上肢の骨関連の復習				
		3	演習	体幹筋の触診				
		4	演習	表情筋・呼吸筋・体幹筋の復習				
		5	演習	肩甲骨筋の触診				
		6	演習	肩甲骨筋の復習				
		7	演習	骨組織関連の復習				
		8	演習	上肢の筋・靱帯の触診				
		9	演習	上肢の筋・靱帯の復習				
		10	演習	復習〔上肢・体幹の骨触診〕				
		11	演習	復習〔上肢・体幹の筋触診〕				
		12	演習	下肢の骨・靱帯の触診				
		13	演習	下肢の骨・靱帯の復習				
		14	演習	下肢の筋の触診				
		15	演習	下肢の筋の復習				
		16	講義	感覚器系の復習（その1）				
		17	演習	感覚器系の復習（その2）				
		18	演習	循環器系の復習				
		19	演習	呼吸器系の復習				
		20	演習	消化器系の復習				
		21	演習	泌尿器系の復習				
		22	演習	内分泌系の復習				
		23	演習	まとめ				
				原則、筆記試験の実施 筆記試験 <u>有</u> ・無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイントなどの提出を必須とする。				
テキスト・参考図書等			標準理学療法学・作業療法学 解剖学第5版 医学書院、 人体解剖カラーアトラス 原著第8版 南江堂					
評価方法			筆記試験の結果で評点を算出し、その6割以上の結果を持って単位認定とする。 実施された授業コマ数の1/3以上を欠席すると期末試験（実技試験）の受験資格を失う。					

※形態は、講義・演習・実習(施設/企業等)

2025年度 指導計画 (シラバス)

広島国際医療福祉専門学校

科目名	運動学		学科名	作業療法学科	講師名	徳光 謙一
時間数	60時間				実務経験の有無	作業療法士として急性期・回復期・生活期の医療機関で実務経験あり
学年・学期配当		1 年次 2 年次 3 年次			前期 後期 通期	
目的・ねらい		身体運動を力学的、生理学的側面から総合的に理解するために、力学的基礎知識、人間の形態及び生理機能について理解することを目的とする				
授業全体の内容の概要		第 1 ～ 6 回：キネシオロジー、生体力学の基礎 第 4 ～ 2 6 回：身体の各部位に関する特殊な解剖学とキネシオロジーの原理 第 2 7 ～ 3 0 回：歩行、咀嚼、換気のカネシオロジーの基礎				
授業修了時の達成課題（到達目標）		筋機能とその特性を理解し説明できる。 運動をコントロールする末梢ならびに中枢神経系の生理的機能について理解し、説明できる。 姿勢および姿勢制御、歩行動作に関して基礎的な内容を理解し、説明ができる。				
指導計画	回	形態	内 容			
	1	講義	キネシオロジーの基本原理 1			
	2	講義	キネシオロジーの基本原理 2			
	3	講義	関節の構造と機能 1			
	4	講義	関節の構造と機能 2			
	5	講義	骨格筋の構造と機能 1			
	6	講義	骨格筋の構造と機能 2			
	7	講義	肩複合体の構造と機能 1			
	8	講義	肩複合体の構造と機能 2			
	9	講義	肩複合体の構想と機能 3			
	10	講義	肘・前腕複合体の構造と機能 1			
	11	講義	肘・前腕複合体の構造と機能 2			
	12	講義	肘・前腕複合体の構造と機能 3			
	13	講義	手関節の構造と機能 1			
	14	講義	手関節の構造と機能 2			
	15	講義	手の構造と機能 1			
	16	講義	手の構造と機能 2			
	17	講義	脊柱の構造と機能 1			
	18	講義	脊柱の構造と機能 2			
	19	講義	股関節の構造と機能 1			
	20	講義	股関節の構造と機能 2			
	21	講義	股関節の構造と機能 3			

指導計画	22	講義	膝関節の構造と機能 1
	23	講義	膝関節の構造と機能 2
	24	講義	膝関節の構造と機能 3
	25	講義	足関節の構造と機能 1
	26	講義	足関節の構造と機能 2
	27	講義	歩行の基礎知識 1
	28	講義	歩行の基礎知識 2
	29	講義	咀嚼と換気のキネシオロジー 1
	30	講義	咀嚼と換気のキネシオロジー 2
			原則、筆記試験の実施 筆記試験 <u>有</u> ・無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイントなどの提出を必須とする。
テキスト・参考図書等			エッセンシャル・キネシオロジー 機能的運動学の基礎と臨床
評価方法			中間・期末筆記試験（平均60点以上を合格とする）・課題・出席率等

※形態は、講義・演習・実習（施設/企業等）